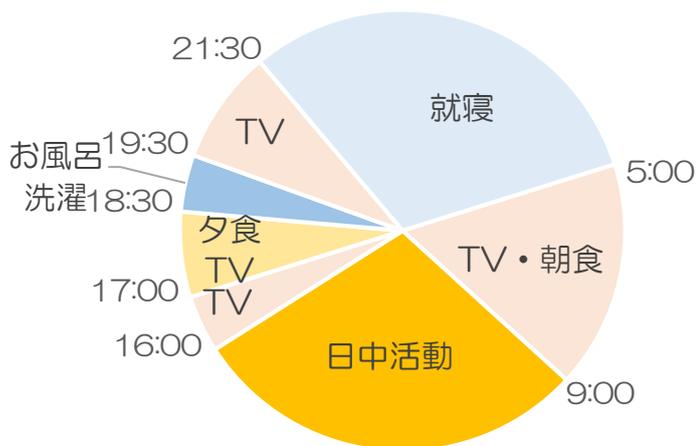


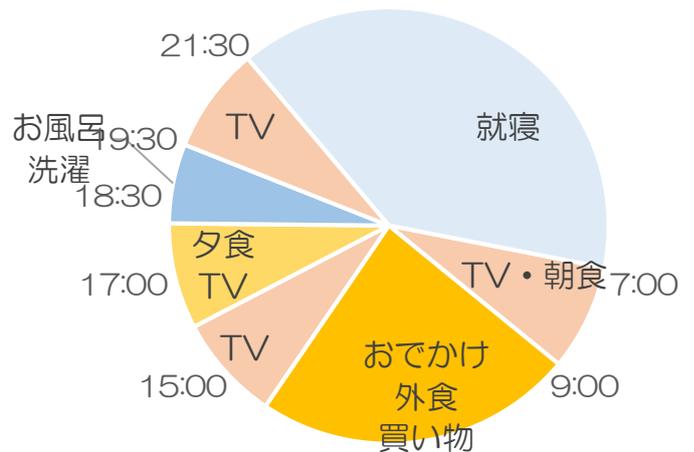
今回は福祉サービスの「共同生活援助」といわれるグループホームでの生活を紹介します。お話を聞いた方は60代男性です。約4年前より自宅からグループホームでの生活に変わられました。きっかけは母親の介護施設への入所など家族の状況の変化でした。

生活の様子

平日



休日



自宅のときの生活とほとんど変わらんよ。
グループホームの部屋は窓が大きくて外が良く見えるところが気に入ってる。



利用者

野菜が苦手な方が多いのですが、味付けを工夫したりしてなるべく食べやすくしています！



世話人さん

取材日の夕食はナポリタンとサラダ、和え物と漬物、デザート、でした。



ほかの入居者のかたと一緒にこの部屋でたべます(夕食のみ、曜日によっては提供なしの日もあり)



こだま職員

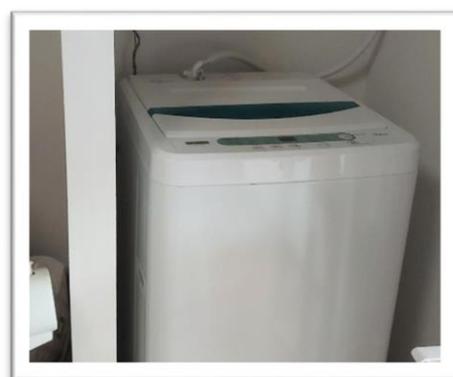
部屋きれいにされていますね



そうじは好きじゃないんやけど休みの日にバーツとやってまうんや。たまに職員さんも手伝ってくれるしな。トイレ掃除が苦手やわ。洗濯は風呂のあとに毎日するんや。



利用者



こだま職員

通院はどうしてますか？
あと困った事が起きた時は
どうしていますか？

慣れてる近い病院は自分で
行くけど、治療が必要な時
や遠い病院は職員さんが連
れて行ってくれる。
困った時も職員さんに電話
するんや。



利用者

余暇

普段は好きな DVD をみて楽しめる事が多いそうです。休日は買い物に行ったりお気に入りの場所に出かけたりと、だいたい決まったリズムがあるようでした。グループホームの行事で外食に行くのも楽しみにされていました。

金銭管理

実家のご家族がされています。
月に1回 15000 円を貰い、通所先の支払い
や買い物に使われています。

まとめ

「先日携帯電話がこわれてしまった時は家族が手続きをしてくれたし、普段の困りごとはグループホームの職員に連絡をすると対応をしてくれるんや」と緊急連絡先の張り紙をみせてくださいました。部屋の一番分かりやすい場所に貼ってあり、家族や職員、相談員の手助けのもと楽しく居心地のよい生活を送られている印象を受けました。

注*グループホームでの暮らしの一例です。